

漁況海況予報事業*

阪本俊雄・竹内淳一・吉村晃一
 武田保幸・渡辺勇二郎
 調査船「わかやま」浜口英雄他六名

目 的

本県沿岸および同沖合の海況と本県沿岸漁業の漁況をモニタリングして、海況と漁況に関する調査研究を行う。同時にこれらの情報を漁業関係者ならびに関係機関に提供して操業と漁業経営の合理化に資する。

方 法

昭和63年度漁況海況予報事業実施方針（水産庁）による。

結 果

1 海況の概要

潮岬沖合における黒潮中心部は、4～9月前半は同岬南約30～60浬と離岸し、9月後半（20日）以降はほぼ15浬に接岸状態を持続した（表1）。しかし、遠州灘沖の冷水塊はこの黒潮の潮岬への接

表1 潮岬沖合の黒潮中心部離岸距離（浬）

年	1988										1989		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
前半	60	50	40	45	20	30	15	10	10	15	20	15	
後半	40	45	40	30	30	15	20	20	15	15	40	15	
	(50)	(50)	(30)	(30)	(20)	(15)	(15)	(15)	(15)	(10)	(20)	(15)	

後半の値は「わかやま」の観測による。前半及び後半（）は水路部海洋速報。

表2 合ノ瀬から黒潮中心部までの距離（浬）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	60	60	55	60	-	-	35	45	45	40	50	50

いずれも月後半

岸にもかかわらず1989年4月前半まで存在して、この間黒潮流路はC型蛇行をとった。

また、紀伊水道合ノ瀬沖合の黒潮中心部位置は7月までは約60浬であったが10月以降は約10～20 浬接岸して約35～50浬となった（表2）。

このような黒潮の変動を受けて、沿岸域では、9月前半以前では中層の湧昇が沿岸域に係り低温化した。特に黒潮が接岸傾向をみせた6月～9月の夏期はこれが激しかった。9月後半以降は紀伊水道側沿岸域は直接黒潮で洗われ、高温化した。熊野灘は湧昇域となり、そこでは低温となった。流況も9月前半以前は本県東部沿岸側に内海系水が流出するパターンであったが、黒潮接岸後はすさみ付近を中心とする強い振り分け潮となって、それ以北では北西流、以東では南西流が卓越した。またこの黒潮異常接岸で紀伊水道の冬期水温・塩分前線は水道内中央部宮崎鼻まで北上して形成された。なお、沿岸各海域の塩分は、6～8月に表層（0～30m）を中心に著しく低下した。

* 漁況海況予報事業費による。本事業報告は「昭和63年度漁況海況予報事業結果報告書」として別途報告。

2 漁況の概要

以上のような黒潮離岸の状態から異常接岸となった本年度の漁況は、これまでの漁海況モニタリング成果を踏まえて摘記すると次のとおりである。

内海マダイ：加太、黒潮離岸年に好漁、接岸年に不漁の傾向があって、9月まで好漁、10月以降不振。

内海マダコ：加太、1986年を最高に'87、'88年（'86年の60パーセント）と減少の傾向大。

サワラ：紀伊水道春期入り込み群は3月末の暖水波及で好漁。秋の下りサワラは箕島以北で好漁、冬期の水道南部は大不漁、いずれも黒潮異常接岸が影響する。

タチウオ：9月まで水道底層低温化、不漁。10月以降は高温で漁まらず。

シラス：紀伊水道は、3月末の暖水波及で潮変わりして4月は15~17℃、5月も15~16℃で好漁持続。7月もカタクチ適温の21℃で好漁。秋も黒潮接岸で好漁。外域は春漁はまらずであったが、秋冬は黒潮強度接岸で不漁。

内海マルアジ・マサバ：黒潮離岸で入り込みは例年より1ヶ月遅れる。マルアジ（2歳）は'86年の黒潮接岸、マサバ（1歳）は'87年の離岸が作用して資源水準の低下。

外海アジ・サバ・イワシ類：上記のようにマルアジ、マサバの資源水準は低かったが、10月以降の黒潮接岸に転じたマサバ好漁場形成海況によりこれの増加顕著。また、マアジも'86年級資源により増加。1そうまき網は不漁。

ヨコワ：'87年度はほとんどなかったが、本年度は黒潮接岸で若干漁あり。

ビンナガ（トンボ）：ヨコワと同じく'87年は皆無であったが、本年度は若干漁あり。

ハマチ・メジロ：紀南域での漁が目立ち、白浜沖滞留なし。

カツオ：黒潮離岸で'86年の1/3の不漁。曳縄適温となったのは5月後半で、6月中旬まで若干漁持続。7月以降、新子カツオの来遊多し。秋の下りカツオも若干有り。竿釣は熊野灘不漁、紀伊水道まらず。

スルメイカ：中層顕著湧昇が発達した8~9月にのみ活況、全体として近年の低水準。

ソーダカツオ：勝浦、9月、11月末~12月初めに大規模な熊野灘暖水波及があって、漁はこのときのみ、後者によって12月としては過去最高の水揚。

サンマ：東北豊漁による魚価安のため、水揚量はたいしたことはなかったが、C P U Eは近年のうちで最高。魚体30cm以上の大型群。油持ち。

ブリ：まとまった入網は3月28日の太地のみで、全体として不漁。